

# 増補 大洲市誌 目次

口 絵

発刊のことば

大洲市誌編纂会長  
大洲市市長 榊田與一 (13)

大洲市誌を読まれる人のために……編纂委員会 (15)

## 総目次 (詳細は各編ごとの目次による)

### 〈下巻〉

第八編 行政・財政……………781

第一章 行政区画の変遷……………	784
第二章 市制実施……………	805
第三章 財政……………	841
第四章 社会福祉……………	858
第五章 保健衛生……………	893
第六章 土木……………	930
第七章 警備・治安……………	945

第八章 徴兵・兵事……………	990
第九章 選挙……………	1023
第十章 労働問題……………	1050
第十一章 広報広聴及び区長会……………	1056
第十二章 大洲市内の官公署・施設等……………	1067
第十三章 大洲市の開発構想……………	1079

第九編 産業・経済・土木……………1109

第一章 農業……………	1112
第二章 林業……………	1268
第三章 商業……………	1281
第四章 鉱工業……………	1306
第五章 漁業……………	1324
第六章 金融……………	1329
第七章 交通・運輸・通信……………	1348
第八章 公共下水道……………	1380
第九章 上水道……………	1385
第十章 都市計画……………	1387

第一〇編 年表

索引	1397
*人物索引	1466
*一般項目索引	1465
おわりに	1460
大洲市誌の編纂にたずさわった人々	1467
大洲市誌編纂会の組織表	1468
編集を終わって 大洲市誌編纂・編集委員長 稲田 實留	1469
稲田 實留	1470
地名の正しい読み方一覧表	1471
大洲市全図	1472

見かえし

- 上巻 伊予一国之絵図(加藤家蔵)
- 下巻 大洲城下武家屋敷図 大洲城中図(加藤家蔵)

1472 1471

〔上巻〕

第一編 自然環境	1
第一章 位置・面積	3
第二章 地形	8
第三章 地質及び土壌	28
第四章 気候	43
第五章 生物	56
第二編 歴史	79
第一章 原始・古代	83
第二章 中世	107
第三章 近世	143
第四章 近代	274
第三編 教育	327
第一章 藩政時代の教育	329
第二章 明治以後の教育	356
第四編 宗教	433
第一章 神社	435

第二章 寺院	466
第三章 キリスト教	504
第四章 教派神道・その他	511
第五編 民俗	517
第一章 地域社会の構造	519
第二章 衣食住	535
第三章 労働慣行	555
第四章 年中行事	565
第五章 人生儀礼・民間信仰	578
第六章 民話と伝説	589
第七章 こどもの生活	599
第八章 民謡	607
第九章 郷土芸能・その他	618
第二章 俚諺・方言	621
第六編 諸芸・文化財・観光	637
第一章 諸芸及び文化団体	639
第二章 文化財	696
第三章 観光	738
第七編 人物	753

各編の目次

〈下巻〉

第八編 行政・財政

第一章 行政区画の変遷

第一節 集落の形成……………784

一 早く発生した山腹の集落 高山……………784

二 弘化四年の検地帳に残っている藤縄村の集落……………785

三 計画的割りの行われた在町の常磐町……………786

四 新谷藩の家中和町家の地割り……………787

五 在町八多喜の集落……………789

六 富士山麓の集落……………790

七 自然堤防上の集落 若宮……………791

第二節 行政区画の変遷……………792

第二章 市制実施……………805

第一節 十か町村合併……………805

第二節 大洲市の出発……………815

第三節 行政事務機構……………831

第四節 正信・鳥坂地区の分離……………838

第五節 名誉市民……………839

第三章 財政……………841

第一節 旧町村の財政……………841

一 財政規模と住民負担の推移……………841

二 徴税制度と貯蓄組合……………850

第二節 大洲市の財政……………852

一 財政再建……………852

二 財政の推移……………852

第四章 社会福祉……………858

第一節 福祉六法……………858

一 生活保護……………858

二 身体障害者福祉……………861

三 児童福祉……………863

四 精神薄弱者福祉……………866

五 老人福祉……………868

六 母子及び寡婦福祉……………874

第二節 民間活動……………876

一 民生委員・児童委員……………876

二 社会福祉協議会……………879

三 共同募金……………884

四 V Y S……………886

第五章 保健衛生……………893

第一節 明治以降の衛生行政……………893

一 保健所設置までの衛生行政……………895

二 衛生組合……………897

三 健康都市宣言と地区組織づくり……………897

四 保健センター設置……………898

五 新たな地域保健の動向……………899

第二節 伝染病予防と寄生虫駆除……………900

一 急性伝染病……………900

二 慢性伝染病……………901

三 寄生虫……………902

第三節 母子保健……………902

一 母子栄養強化対策……………902

二 母子保健推進員の設置……………902

第六節 環境衛生……………912

一 清掃事業……………912

二 環境保全……………914

第七節 医療関係施設……………915

一 市立大洲病院……………915

二 診療所……………916

三 隔離病舎……………917

四 医療施設等……………918

第八節 国民健康保険……………918

一 農家経済と農村の医療費……………918

二 医療対策……………919

三 制度の創設……………919

四 戦時中……………920

五 終戦後……………920

- 六 市制以後…………… 920
- 七 老人保健制度の創設…………… 921
- 八 退職者医療制度の創設…………… 922
- 第九節 人口動態…………… 923
  - 一 大洲市の人口…………… 923
  - 二 出生…………… 926
  - 三 死亡…………… 926
  - 四 周産期死亡…………… 927
  - 五 乳児死亡…………… 928
  - 六 自然増加…………… 928
- 第六章 土 木…………… 930
  - 第一節 道路と橋梁…………… 930
    - 一 藩政時代…………… 930
    - 二 旧町村時代…………… 930
    - 三 市制実施後…………… 931
  - 第二節 治水・治山…………… 938
    - 一 河川と水害対策…………… 938
    - 二 肱川総合開発…………… 939
    - 三 治山事業…………… 942
- 第七章 警備・治安…………… 945
  - 第一節 消 防…………… 945

- 一 消防の歴史…………… 945
- 二 明治以降の消防…………… 949
- 三 警 防 団…………… 961
- 四 近代消防…………… 962
- 第二節 警 察…………… 979
  - 一 大洲警察署の変遷…………… 979
  - 二 警察庁舎…………… 984
  - 三 交通事故…………… 984
- 第三節 裁判所・検察庁及び拘置支所…………… 986
- 第八章 徴兵・兵事…………… 990

- 第四節 選挙管理委員会と明るく正しい選挙推進協議会…………… 1045
- 第二章 労働問題…………… 1050
  - 第一節 明治初期の農民運動…………… 1050
  - 第二節 太平洋戦争前の労働運動…………… 1050
  - 第三節 戦後労働運動の発展…………… 1051
    - 一 労働者の生活破綻と虚脱状態…………… 1051
    - 二 教員勤務評定と大洲市職の争議…………… 1052
  - 第四節 失業対策と事業…………… 1053
- 第二章 広報広聴及び区長会…………… 1056
  - 第一節 広報広聴と行政…………… 1056
  - 第二節 区長会と行政…………… 1062
- 第三章 大洲市内の官公署・施設等…………… 1067
  - 一 官 公 署…………… 1067
  - 二 文化施設…………… 1069
  - 三 文教施設…………… 1069
  - 四 社会福祉施設…………… 1070
  - 五 医療施設…………… 1071
  - 六 衛生施設…………… 1071
  - 七 金融機関…………… 1076

- 第九編 産業・経済・土木…………… 1071
  - 八 その他の施設…………… 1077
  - 資料 大洲市の開発構想…………… 1079
    - 一 大洲市総合開発計画―第一次計画…………… 1079
    - 二 大洲市総合計画―第二次―…………… 1085
    - 三 第三次大洲市総合計画…………… 1091
    - 四 第四次大洲市総合計画…………… 1099
- 第一章 農 業…………… 1112
  - 第一節 農業経営…………… 1112
    - 一 土地利用と水利…………… 1112
      - 1 農地の分布…………… 1112
      - 2 利水技術の発達と水利慣行…………… 1113
      - 3 近年の土地利用…………… 1115
    - 二 土地制度と農地改革…………… 1118
      - 1 農地調整と自作農創設…………… 1118
      - 2 農地改革…………… 1121
      - 3 農地法と農業委員会…………… 1124
    - 三 戦前の土地改良事業…………… 1126
      - 1 春賀地区の耕地整理事業…………… 1127
      - 2 矢落川及び都谷川改修事業…………… 1130
      - 3 五郎地区開田事業…………… 1133

4	村島地区開田事業	1133
5	その他の地区の土地改良事業	1135
四	経営の動き	1136
1	農家戸数と人口	1136
2	経営規模	1138
3	専業と兼業	1139
4	農業技術指導	1140
5	作目編成の動向	1143
6	農業共済	1147
五	農業生産の動き	1148
1	米の生産	1148
2	麦と雑穀	1151
3	野菜	1153
4	果樹	1153
5	葉たばこ	1154
6	畜産	1155
7	養蚕の推移	1159
第二節	農業の近代化	1164
一	新市建設計画と農業施策	1164
1	道路網の整備	1164
2	区画整理	1164
3	財政援助と開発	1164
4	畑地の水田化	1166
二	新農村建設事業	1167
1	発足と構想	1167
2	推進体制	1168
3	実施事業	1169
三	第一次農業構造改善事業	1170
1	事業の背景	1170
2	基本計画とその構想	1172
3	事業実施	1174
4	効果とその後	1178
四	大洲平野土地改良事業	1182
1	事業実施前の状況	1183
2	事業の経過	1184
3	事業の内容	1189
4	事業費とその負担	1192
5	効果とその後	1193
五	総合開発計画と農業開発事業	1194
1	昭和三〇年代後半の市内農業	1194
2	大洲市農林振興委員会とその答申	1197
3	総合開発計画中の農業対策	1198
4	農用地造成	1200
5	国営農地開発事業	1203
6	第二次農業構造改善事業	1217
7	新農業構造改善事業(前期対策)	1230

8	広域営農団地農道整備事業	1231
六	第二次大洲市総合計画	1232
七	大洲市を考える百人委員会と第三次大洲市総合計画	1234
第三節	農業協同組合	1239
一	農業協同組合の変遷	1239
1	産業組合	1239
2	農業会	1245
3	農業協同組合	1248
二	組合の果たした役割	1254
1	生産	1254
2	金融	1255
3	販売	1256
4	購買	1257
5	利用	1258
6	その他	1258
三	市内農協の合併	1259
1	合併の促進	1259
2	合併当時の財務	1260
四	大洲農業協同組合のあゆみ	1260
1	河辺村農協合併と名称変更	1260
2	組織	1261
3	財務	1261
第二章	林業	1268
4	機能	1263
第一節	山林の分布と経営条件	1268
一	森林の分布と自然条件	1268
二	所有形態	1268
三	樹種別面積と蓄積量	1269
四	公有林	1269
第二節	林業経営の推移	1270
一	昭和一〇年代まで	1270
二	太平洋戦争下	1272
三	戦後	1273
第三節	林業の近代化	1277
一	林業構造改善事業	1277
二	森林総合整備事業	1278
三	間伐促進対策事業	1278
四	林道・作業道の開設	1279
五	林業振興計画	1280
第三章	商業	1281
第一節	封建時代の商業	1281
一	はじめに	1281
二	城下町の形成	1281

- 1 大洲城下.....1281
- 2 新谷陣屋町.....1283
- 3 在郷町八多喜.....1284
- 三 町人の役割とその生活.....1285
- 第二節 明治以後の商業.....1285
- 一 明治初期の商業.....1285
- 二 商業の発達とその消長.....1286
- 三 商人の活動.....1286
- 四 節 季.....1287
- 第三節 現代の商業.....1287
- 一 大洲市の商業.....1287
- 二 大洲市の商業地域.....1288
- 1 中心商業地.....1288
- 2 周辺商業地.....1288
- 3 近年発展のめざましい商業地.....1288
- 三 商業の現況.....1294
- 1 既存の商店街.....1294
- 2 商店数.....1297
- 3 従業員数.....1298
- 4 商品販売額.....1299
- 四 商 圏.....1300
- 五 商業関係団体.....1301
- 1 大洲商工会議所.....1302

- 2 協同組合.....1304
- 3 その他.....1304
- 第四章 鉱工業.....1306
- 第一節 工 業.....1306
- 一 製 紙.....1310
- 二 製 糸.....1311
- 三 釀 造.....1316
- 四 製 材.....1317
- 五 工場誘致と工業団地（地方拠点都市地域整備）.....1318
- 1 工場誘致.....1318
- 2 工業団地.....1319
- 3 地方拠点都市地域整備エリア内の工業系団地.....1319
- 第一節 鉱 業.....1322
- 一 地下資源.....1322
- 二 砂利と碎石.....1322
- 三 鉱 泉.....1323
- 第五章 漁 業.....1324
- 第六章 金 融.....1329
- 第一節 金融の移り変わり.....1329
- 第二節 近代金融機関の発生.....1330

- 一 大洲銀行のおこり.....1330
- 二 地方銀行の繁栄.....1332
- 三 銀行合併の動き.....1334
- 第三節 金融の現況.....1338
- 一 戦後の金融制度.....1338
- 二 県内の動き.....1338
- 三 大洲の金融機関.....1339
- 四 金融状況の変化.....1344
- 五 大洲市の預貯金実績.....1347
- 第七章 交通・運輸・通信.....1348
- 第二節 藩政時代の交通・運輸.....1348
- 第二節 明治以後の交通・運輸.....1350
- 一 肱川の舟運.....1351
- 二 筏 流 し.....1353
- 三 河川交通のおとろえ.....1354
- 四 道路の発達.....1354
- 五 道路の改築.....1357
- 六 交通機関の発達.....1360
- 第三節 交通・運輸の現況.....1366
- 一 交通・運輸の現況.....1366
- 二 道路交通.....1370
- 三 交通安全対策事業.....1371

- 一 郵便事業.....1372
- 二 電報電話.....1375
- 第五節 その他の情報活動.....1377
- 第八章 公共下水道.....1380
- 第一節 公共下水道の沿革.....1380
- 第二節 公共下水道事業概要.....1380
- 第三節 受益者負担金と下水道使用料.....1383
- 第四節 事業推進と今後の課題.....1384
- 第九章 上 水 道.....1385
- 第二章 都市計画.....1387
- 第一節 都市計画法制の沿革.....1387
- 第二節 大洲市の都市計画.....1388
- 一 都市計画区域.....1388
- 二 土地利用計画.....1388
- 三 都市施設.....1389
- 1 交通施設.....1389
- 2 公園・緑地等.....1391
- 3 下 水 道.....1393
- 4 供給処理施設.....1393

四 市街地開発事業……………1393  
 五 都市計画の制限……………1394  
 六 その他……………1395

第二編 年表……………1397

索引……………1466

\*人物索引……………1465  
 \*一般項目索引……………1460  
 おわりに……………1467  
 大洲市誌の編纂にたずさわった人々……………1468  
 大洲市誌編纂会の組織表……………1469  
 編纂を終わって 大洲市誌編纂・編集委員長 稲田 實留……………1470  
 地名の正しい読み方一覧表……………1471  
 大洲市全図……………1472

見かえし

上巻 伊予一国之絵図(加藤家蔵)

下巻 大洲城下武家屋敷図 大洲城中図(加藤家蔵)

ごあいさつ

執筆編集員総力をあけて、校閲・校正を重ね、より科学的かつ正確な記録を目指し努力いたしました。最終段階で急ぎ、発刊後、所々誤りを発見しました。申し訳なく思います。なお、固有名詞については、人名、地名、建築物名、文化財、古文書・資料でも旧字体と、当用漢字等の表現になっているところがありますが、基本は、中学校卒業程度を目標にしていますので、原典を要するところは、旧字体にし、それ以外は、新字体にしておりますので、ご了承ください。

大洲市誌編纂会

正誤表

(上巻)

頁・段・行	正	誤
五頁上段1行	着工した。	着工して×××
七四頁下段10行	チュウゴクザサ	チヨウゴクザサ
七七頁上段2行	アメリカフウロウ	アメリカフクロウ
八三頁上段6、7行	旧石器	先史
九二頁上段写2、7	壺	甕
九二頁下段図2、6	壺	甕
一一二頁下段10行	討ち。	討い
一二四頁上段10行	くだしたために	くだした。ために
一三七頁下段19行	沙汰	沙沙
一五八頁上段3行	他は一六四〇年(寛永一七)から御替地……	一六四〇年(寛永一七)大洲・新谷藩領……

頁・段・行	正	誤
四三六頁最下段	一三三一年(元弘元)	一三三一年(正慶二)
四八六頁下段5行	龍沢山	大沢山
四九〇頁下段22行	本堂・庫裡	本道兼庫裡
五〇二頁下段1行	檀徒	壇徒
六三一頁上段11行	カマモリ(ドバ)	カマモリ(ドバ)××
六三四頁上段3行	ネンシヤナ「形動」	ネンシヤナ「名」
六三五頁下段15行	ヤラ「名」	ヤラ「形」
六四三頁下段13行	(三人扶持一二石)	(三人扶持二名)
六四六頁下段4行	西丸大納言家治	西丸言家治
六四九頁下段7行	父。	谷
六九八頁下段16行	田処	川処
六九八頁下段18行	横野の藤	横黒の藤

# 第八編 行政・財政



大洲市民会館

頁・段・行	正	誤
七二六頁下段2行 目次上段1・3行 七五六頁上段18行 七五七頁下段13、14行 七六〇頁上段21行 七六四頁下段17行 七六五頁上段2行 七六五頁下段6行 七六九頁下段5行 七七〇頁上段9行 七七五頁上段17行 七七六頁上段20行 七七八頁上段8行、下段3行	小早川隆景禁制札 譽〇 譽〇 高浜〇 經濟〇 禮〇 圖〇 傳〇 保内町〇 中村〇 養〇 國〇 (削除)	小早川隆景禁制札 譽〇 譽〇 高松〇 經濟〇 札〇 函〇 伝〇 八幡濱市〇 大洲〇 義〇 町〇 園

頁・段・行	正	誤
九六三頁下段1行 九六三頁下段15行 九六八頁上段16行 九七一頁上段5行 九七三頁表八・一三三 九七六頁表八・一三六上段( ) 一・一三三頁下段7行 一三八九頁下段6行 一四〇〇頁上段八〇七 一四六八頁下段1行 一四六九頁大洲市誌編纂会の組織表	表八・一〇〇・二〇〇・二〇〇 表八・一〇二 九月 大洲市大洲一〇三四番地の四 小型動力ポンプ 全幅 抹消 （昭和四七年以降加筆） 今幅 （昭和四七年以降加筆） 今幅 副会長 助役 吉岡徳行	表八・一〇二 表八・一二四 七月 大洲一〇三四番地 小型ポンプ 副会長 助役 吉岡徳行

(下巻)

頁・段・行	正	誤
七八四頁上段17行 七八四頁下段10行 八一八頁上段7行 九〇一頁表8、70	旧石器 照高 准看護婦学校 羅患率七九・九 羅患率四四・九 羅患率二六・三 羅患率一六・〇 羅患率五・七 死亡率二二・一 死亡率一六・二 死亡率一・五	先史 頁 准看護婦学校
昭和三十五年 全国愛媛県 平成五年 全国愛媛県 平成六年 全国愛媛県 平成六年 全国愛媛県		



目次

第一章 行政区画の変遷
第一節 集落の形成
一 早く発生した山腹の集落 高山 784
二 弘化四年の検地帳に残っている 藤縄村の集落 785
三 計画的な地割りの行われた 在町の常磐町 786
四 新谷藩の家中と町家の地割り 787
五 在町八多喜の集落 789
六 富士山麓の集落 若宮 790
七 自然堤防上の集落 791
第二章 行政区画の変遷
第一節 市制実施 792
第二章 市制実施 792
第一節 十か町村合併 792
第二節 大洲市の出発 805
第三節 行政事務機構 815
第四節 正信・鳥坂地区の分離 831
第五節 名誉市民 838
第三章 財政
第一節 旧町村の財政 841
一 財政規模と住民負担の推移 841
二 徴税制度と貯蓄組合 850
第二節 大洲市の財政 852
一 財政再建 852
二 財政の推移 852
第四章 社会福祉
第一節 福祉六法 858
一 生活保護 858
二 身体障害者福祉 861
三 児童福祉 863
四 精神薄弱者福祉 866
五 老人福祉 868
六 母子及び寡婦福祉 874
第二節 民間活動 876
一 民生委員・児童委員 876
二 社会福祉協議会 879
三 共同募金 884
四 V Y S 886
五 日本赤十字奉仕団 886
第三節 その他 887
一 災害救助 887
二 地域改善対策事業 888
三 国民年金 890
四 交通障害保障制度 891
五 児童扶養手当 892
六 特別児童扶養手当 892
第五章 保健衛生
第一節 明治以降の衛生行政 893
一 保健所設置までの衛生行政 895
二 衛生組合 897
三 健康都市宣言と地区組織づくり 897
四 保健センター設置 898
五 新たな地域保健の動向 899
第二節 伝染病予防と寄生虫駆除 900
第六章 老・成人保健
第一節 脳卒中・心臓病 904
二 老人保健事業 907
三 老人保健施設 910
四 老人訪問看護制度 911
五 老人訪問看護制度 911
第七章 精神保健
第一節 精神保健 911
二 清掃事業 912
三 環境保全 914
第八章 国民健康保険
第一節 国民健康保険 915
一 市立大洲病院 915
二 診療所 916
三 隔離病舎 917
四 医療施設等 918
一 農家経済と農村の医療費 918
二 医療対策 919
三 制度の創設 919
四 戦時中 920
第九章 資料
一 官公署 1067
二 文化施設 1069
三 文教施設 1069
四 社会福祉施設 1070
五 医療施設 1071
六 衛生施設 1071
七 金融機関 1071
八 その他の施設 1071
一 大洲市の開発構想 1079
二 大洲市総合計画 1079
一 第一次計画 1079
二 第二次 1085
三 第三次大洲市総合計画 1091
四 第四次大洲市総合計画 1099

五 終戦後 920
六 市制以後 920
七 老人保健制度の創設 921
八 退職者医療制度の創設 922
第九章 人口動態 923
一 大洲市の人口 923
二 出生 926
三 死亡 926
四 周産期死亡 927
五 乳児死亡 928
六 自然増加 928
第六章 土木 930
第一節 道路と橋梁 930
一 藩政時代 930
二 旧町村時代 930
三 市制実施後 931
第二節 治水・治山 938
一 河川と水害対策 938
二 肱川総合開発 939
三 治山事業 942
第七章 警備・治安 945
第一節 消防 945
一 消防の歴史 945
二 明治以降の消防 949
三 警防団 961
四 近代消防 962
第二節 警察 979
一 大洲警察署の変遷 979
二 警察庁舎 984
第三章 交通事故 984
第三節 裁判所・検察庁及び拘留支所 986
第八章 徴兵・兵事 990
第九章 選挙 990
第一節 選挙制度の変遷 1023
第二節 国及び地方選挙 1023
一 国の選挙 1025
二 地方選挙 1025
1 県議会議員 1034
2 県知事 1034
3 郡会議員 1037
4 市議会議員 1038
5 市長 1042
第三節 市制施行後の選挙執行状況 1044
第四節 選挙管理委員会と明るく正しい選挙推進協議会 1045
第一〇章 労働問題 1050
第一節 明治初期の農民運動 1050
第二節 太平洋戦争前の労働運動 1050
第三節 戦後労働運動の発展 1051
一 労働者の生活破綻と虚脱状態 1051
二 教員勤務評定と大洲市職の争議 1053
第四節 失業対策と事業 1056
第一章 広報広聴及び区長会 1056
第一節 広報広聴と行政 1056
第二節 区長会と行政 1062
第二章 大洲市内の官公署・施設等 1067
一 官公署 1067
二 文化施設 1069
三 文教施設 1069
四 社会福祉施設 1070
五 医療施設 1071
六 衛生施設 1071
七 金融機関 1071
八 その他の施設 1071
一 大洲市の開発構想 1079
二 大洲市総合計画 1079
一 第一次計画 1079
二 第二次 1085
三 第三次大洲市総合計画 1091
四 第四次大洲市総合計画 1099

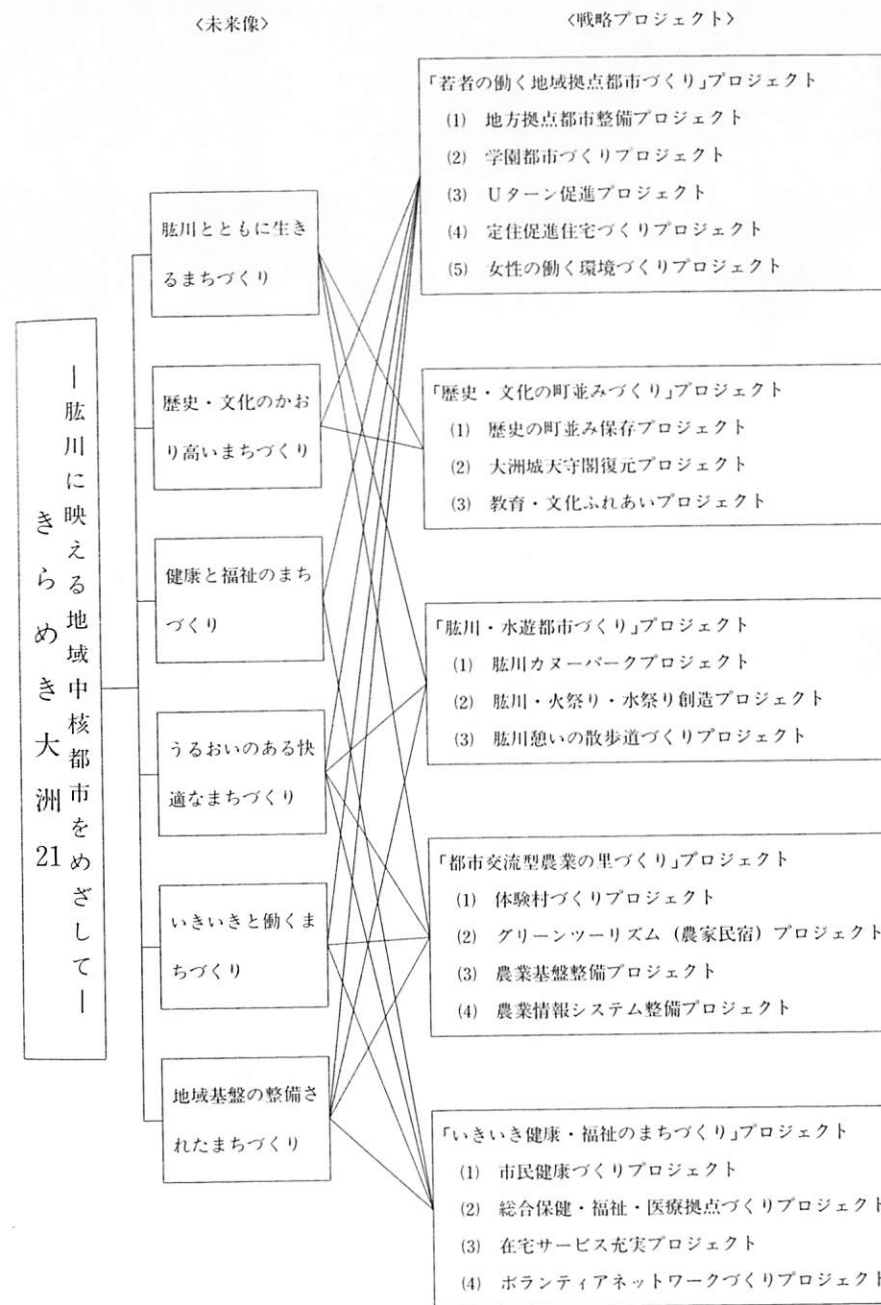
図 8-20 将来像と戦略プロジェクト

# 第九編

## 土産 木業



東大洲・若宮



目次

第一章 農業経営

一 土地利用と水利

1 農地の分布

2 利水技術の発達と水利慣行

3 近年の土地利用

二 土地制度と農地改革

1 農地調整と自作農創設

2 農地改革

3 農地法と農業委員会

三 戦前の土地改良事業

1 春賀地区の耕地整理事業

2 矢落川及び都谷川改修事業

3 五郎地区開田事業

4 村島地区開田事業

5 その他の地区の土地改良事業

四 経営の動き

1 農家戸数と人口

2 経営規模

3 専業と兼業

4 農業技術指導

5 作目編成の動向

6 農業共済

五 農業生産の動き

1 米と雑穀

2 麦と雑穀

3 野菜

4 果樹

5 畜産

6 畜産

7 養蚕の推移

二 農業の近代化

一 新市建設計画と農業施策

1 道路網の整備

2 財政援助と開発

3 畑地の水田化

4 新農村建設事業

1 発足と構想

2 推進体制

3 実施事業

三 第一次農業構造改善事業

1 事業の背景

2 基本計画とその構想

3 事業実施

4 効果とその後

四 大洲平野土地改良事業

1 事業実施前の状況

2 事業の経過

3 事業の内容

4 事業費とその負担

5 効果とその後

五 総合開発計画と農業開発事業

1 昭和三〇年代後半の市内農業

2 大洲市農林振興委員会とその答申

3 総合開発計画中の農業対策

4 農用地造成

5 国営農地開発事業

6 第二次農業構造改善事業

7 新農業構造改善事業(前期対策)

8 広域営農団地農道整備事業

六 第二次大洲市総合計画

七 大洲市を考ふる百人委員会と第三次大洲市総合計画

一 農業協同組合の変遷

1 農業協同組合

2 農業協同組合

3 農業協同組合

二 組合の果たした役割

1 生産

2 金融

3 販賣

4 購買

5 利便

6 その他

三 市内農協の合併

1 合併の促進

2 合併当時の財務

四 大洲農業協同組合のあゆみ

1 河辺村農協合併と名称変更

2 組織

3 業務

4 機能

第二章 林業

一 山林の分布と経営条件

1 森林の分布と自然条件

2 樹形

3 樹種別面積と蓄積量

4 公有林

二 昭和一〇年代まで

1 昭和一〇年代まで

2 太平洋戦争下

三 戦後

三 節 林業の近代化

第三章 商工業

一 林業構造改善事業

二 森林総合整備事業

三 間伐促進対策事業

四 林道・作業道の開設

五 林業振興計画

一 封建時代の商業

一 はじめに

二 城下町の形成

1 大洲城下

2 新谷陣屋町

3 在郷町八多喜

三 町人の役割とその生活

二 明治以後の商業

一 明治初期の商業

二 商業の発達とその消長

三 商人の活動

四 節 現代の商業

一 大洲市の商業

二 大洲市の商業地域

1 中心商業地

2 周辺商業地

3 近年発展のめざましい商業地

三 商業の現況

1 既存の商店街

2 商業店舗数

3 従業員数

4 商品販売額

四 商業関係団体

1 大洲商工会議所

2 協同組合

三 その他

一 製紙業

二 製糸業

三 醸造業

四 製材業

五 工場誘致と工業団地

(地方拠点都市地域整備)

1 工場誘致

2 工業団地

3 地方拠点都市地域整備エリア内の工業系団地

二 地下資源

一 砂利と砕石

二 鉱泉

第五章 漁業

第六章 金融

一 金融の移り変わり

二 近代金融機関の発生

1 大洲銀行の起こり

2 地方銀行の繁栄

三 銀行合併の動き

三 節 金融の現況

一 戦後の金融制度

二 県内の動き

三 大洲の金融機関

四 金融状況の変化

五 大洲市の預貯金実績

第七章 交通・運輸・通信

一 藩政時代の交通・運輸

二 明治以後の交通・運輸

第八章 公共下水道

一 公共下水道

二 公共下水道の沿革

三 受益者負担金と下水道使用料

四 事業推進と今後の課題

第九章 都市計画

一 都市計画法の沿革

二 大洲市の都市計画

1 都市計画区域

2 土地利用計画

3 都市施設

4 公園・緑地等

5 供給処理施設

6 市街地開発事業

7 都市計画の制限

8 その他

人物索引

あ
青野完治 349・350
新 謙見 259
安達伊兵衛作 658
足達 俄國 756
有友正親 756
淡路守 145
安 西 756
い
飯淵貞幹 281
家 綱 107・954
往田進 665
井口亦八 224
井口松江 756
池田亀五郎 982
池田實兵衛 313・756
池田高祐 136
池田春兆 649
池田鉄太郎 728
池田龍一 757
池大納言頼盛 105
生駒十太夫包貌 676
(原形)
生駒宗忠 757
石王塞軒 757
石谷捨蔵 682
石河孫左衛門 306
泉 貞興 658
市橋重長 151
市橋下總守 163
市兵衛 725
逸山祖仁 757
福田清左衛門 930
井上覺右衛門 658
井上 要 645・757
井上仁郎 757
井上関右衛門 659
井口長左衛門 279
伊能忠敬 211
今川七郎 758
今川棟影 674
岩井相馬 688
岩田源介 758
岩田清隆 497
岩村高俊 797
隠元隆琦 169

う
上田久太郎 758
上野八郎政継 645
植木秀幹 758・839
渦尻寿三雄 1260
迂直斎 725
宇都宮 透江守 110・145
宇都宮 公綱 108
宇都宮 貞宗 108
宇都宮 貞泰 108・758
宇都宮貞泰(通称) 110
宇都宮 豊綱 115・758
宇都宮 豊房 441・445・705・720・744・758
宇都宮 宜綱 123
宇都宮 房綱 114・117
宇都宮 宗泰 441
宇都宮 行胤 108・716
宇都宮 龍山 304・643・759
右馬頭 正綱 708
梅原 勝右衛門 140
え
永 深 771
お
大井上 輝前 759
大岡 寛 349
大越家勅行法印 468
大谷 又平 349・759
大塚 菊五郎 350
大塚 敬 645・759
大塚 滋 349・350
大月 滿前 760
大月 服齋 760
大友 喜良喜 743
大西太平治正雄 658
大野 直都 279
大野 直之 114・115・117・121・123・760
大野直之の末路 124
大野了佐 331・760
大橋作右衛門 162・760
大橋 昴庵 345
大橋 英但 760
大橋 文發斎 648・653
大橋 有 306
大宮左京 常榮 468
大村 藤三郎 703

多 田 俄八郎 336
岡 如流斎 684
岡 文四郎 760
岡 本 國 道 656・761
岡 本 国 良 712・761
岡 本 隆 國 656・711・761
岡 本 秀 国 657
岡 本 真 金 国 良 657
小 川 寛 331
冲 永 莊 兵 衛 761
荻 野 伯 武 684
奥 野 源 左 衛 門 241・313・761・930
奥 村 吉 平 703
小 倉 通 勝 761
小 野 十 得 斎 677
か
斐三郎 成 章 348
覚 栄 468
覚 右 衛 門 725
覚 十 郎 泰 忠 164
梶 田 勝 明 1260
梶 谷 永 五 郎 762
梶 谷 伊 豆 守 119・121
梶 原 景 時 743
加 世 季 弘 331・762
加 藤 總 部 163
加 藤 五 郎 八 163
加 藤 左 近 大 夫 145
加 藤 貞 泰 148・149・329・446・706・721・744・762
加 藤 泰 廟 706
加 藤 主 馬 684・762
加 藤 主 馬 光 尚 718
加 藤 糾 275
加 藤 大 蔵 163
加 藤 治 左 衛 門 164
加 藤 出 羽 守 156・157
加 藤 伝 左 衛 門 160
加 藤 直 泰 164・659・727・762
加 藤 平 内 163
加 藤 文 照 646・762
加 藤 光 泰 148・183・706・712・762
加 藤 泰 秋 237・274・306・449・763・792
加 藤 泰 温 173・706・763

加 藤 泰 興 153・334・701・706・711・721・740・763・939
加 藤 泰 堅 172
加 藤 泰 胤 166・763
加 藤 泰 都 173・175
加 藤 泰 茂 167
加 藤 泰 濟 196・706・763
加 藤 泰 武 174・706・763
加 藤 泰 理 199・763
加 藤 泰 周 198・339・653・686・763
加 藤 泰 恒 165・646・659・704・706・707・763
加 藤 泰 貫 167・763
加 藤 泰 稜 174・706・763
加 藤 泰 祉 237・706・763
加 藤 泰 傳 199・763
加 藤 泰 官 175・763
加 藤 泰 令 237・763・792
加 藤 泰 広 221・641
加 藤 泰 廣 174・764
加 藤 泰 賢 198・764
加 藤 泰 衍 173・706・764
加 藤 泰 通 764・839・1270
加 藤 泰 統 166・706・764
加 藤 泰 幹 197・706・764
加 藤 泰 行 174・706・764
加 藤 泰 義 159・706・764
加 藤 嘉 明 150
金 井 南 岳 648
狩 野 親 伯 707
鎌 田 五 根 忠 壽 764
鎌 田 正 澄 764
鎌 田 良 球 政 信 336
亀 岡 哲 夫 765
川 上 政 親 685
川 崎 成 甫 655・765
川 田 半 太 夫 資 深 181
川 田 爲 麿 765
川 田 資 文 677
川 田 資 敬 221
川 田 雄 琴 336・686・708・714・720・725・765
河 口 良 庵 336
姜 沆 138・141・765
菅 以 心 斎 685
蒲 生 忠 知 154

き
菊 沢 與 八 766
岬 山・児 玉 堅 蔵 222
清 徳
北 山 頼 誼 350
吉 向 治 兵 衛 653
橋 仙 642
城 戸 正 棟 766
城 戸 通 徳 453・766
木 野 戸 勝 隆 766
木 村 常 房 647
清 綱 107
く
草 木 国 太 郎 703
国 島 六 左 衛 門 紹 徳 265
国 島 六 左 衛 門 766
窪 田 省 吾 263
窪 田 哲 二 郎 766
口 分 田 盛 美 793
栗 田 伊 豆 719
精 戈 356
け
稽 岳 642
賢 岩 和 尚 707
月 庵 宗 光 706
月 庵 642
玄 透 183
こ
小 市 725
小 出 信 濃 163
小 出 大 和 163
上 月 博 市 333
弘 法 大 師 741
河 内 可 睡 661・766
河 内 正 吉 691
河 内 寅 次 郎 313・703・727
河 野 喜 太 郎 767・1331
河 野 駒 次 郎 308
河 野 忠 太 郎 308
河 野 通 直 115・118・120・121・122・123
河 野 通 広 744
河 野 喜 太 郎 308
神 山 貞 幸 678
神 山 歸 鏡 767・840

神 山 政 孝 643
神 山 充 英 686
香 渡 晋 222・259・289・767・793
古 鏡 道 明 169・767
児 玉 岬 山 343・644・767
児 玉 氏 精 342・349・767
小 西 定 吉 681
小 早 川 左 衛 門 佐 716
小 早 川 隆 景 122・134・716
小 林 次 秀 715
小 林 彌 平 治 680・767
駒 沢 利 斎 703
小 森 誠 一 768
小 森 經 夫 768
小 山 雲 潭 645
具 曾 671
五代 安 綱 109
兀 庵 頼 微 223・767
五 郎 八 163
権 兵 衛 寄 一 727
權 吉 725
權 四 郎 725
さ
西 園 寺 公 広 135
坂 内 親 賢 685
坂 本 龍 馬 249
佐 本 吉 230
櫻 井 久 次 郎 157・768
桜 田 源 雪 645
佐 々 木 喜 榮 768
佐 々 木 源 三 兵 衛 224
佐 々 四 郎 兵 衛 639
貞 泰 725
佐 藤 一 斎 345
佐 野 玄 庵 670
三代 泰 輔 109
西 園 寺 公 高 114
し
シ ー ボ ル ト 295
成 章 722
清 水 季 格 331
清 水 浜 臣 725
下 井 小 太 郎 283・307・768
春 殿 祖 東 467・491・744・768
初 代 豊 房 107
称 徳 天 皇 712

人 物 索 引

樵 禪 350・481・642  
樵 禪 禪 713・768  
真 空 寂 500  
人物索引  
真 空 寂 711  
真 空 妙 應 467・769  
真 空 妙 應 禪 師 716  
新 澄 765  
十 兵 衛 725  
上 甲 可 州 674  
上 甲 振 洋 282  
治 郎 右 衛 門 725  
甚 九 郎 725

す  
翠 殿 玄 要 642  
陶 浩 798  
陶 不 藏 次 郎 282  
杉 江 市 郎 安 正 338  
杉 江 安 忠 645  
杉 彦 名 命 741  
宿 茂 稔 暁 648・669・769  
助 右 衛 門 垂 穂 725  
資 哲 337  
資 始 337  
資 敬 337  
菅 田 左 衛 門 大 夫 145  
鈴 木 高 学 363  
鈴 木 重 遠 676  
鈴 村 讓 281  
巢 内 式 部 347・722・723・769  
巢 内 式 部 倍 善 249  
巢 内 倍 善 663  
須 内 實 三 郎 713・769・1335

せ  
清 吉 725  
清 家 貞 利 683  
清 兵 衛 725  
聖 光 466  
誠 拙 和 尚 707  
瀬 尾 宗 太 夫 704  
関 兵 部 大 輔 163

そ  
總 菅 安 西 170  
曾 根 愛 山 769  
曾 根 城 主 曾 根 丹 117  
後 守 宜 高  
曾 根 宜 高 121

染 木 清 麩 769  
た  
泰 實 奚 疑 769  
高 井 長 藏 350  
高 田 修 650  
高 田 忠 次 郎 349  
高 橋 虎 138・140  
高 橋 田 鶴 子 663  
高 山 長 幸 645・770  
高 山 峰 三 郎 677  
高 吉 140  
瀧 野 權 兵 衛 正 重 717  
瀧 久 治 郎 309  
竹 内 松 月 661  
竹 中 丹 後 163  
武 井 一 行 669  
武 井 俱 実 717  
武 田 成 章 297・685・770  
武 田 千 穎 663・770  
武 田 豊 城 281・770  
武 田 敬 孝 251・252・259・348・644・722・724・770  
武 智 吉 太 夫 683・770  
武 兵 衛 725  
多 田 順 三 郎 454・770  
橋 遠 保 104  
田 中 林 斎 717・1282  
棚 橋 茶 斎 644  
棚 橋 亮 輔 342  
玉 井 勝 流 648  
玉 井 俊 次 郎 345  
垂 井 兵 左 衛 門 709  
大 休 467  
大 藏 163  
ち  
力 石 高 山 640・771  
力 石 雄 一 郎 771  
力 石 吉 正 675・677  
近 田 永 潔 662  
近 田 永 潔・八 東 340・冬 載  
近 田 八 東 272・689・771  
竹 軒 645  
竹 内 重 利 770  
長 宗 我 部 115  
長 宗 我 部 元 親 134  
長 八 725

長 兵 衛 725  
張 恩 恭 706

つ  
佃 助 九 郎 164・335  
津 田 八 郎 左 衛 門 192・193  
津 々 喜 谷 加 賀 守 110  
高 行

常 辰 647  
て  
定 室 祖 定 467  
天 梁 480

と  
藤 堂 和 泉 守 145  
藤 堂 高 虎 136・137・141・143・150・441・1282  
藤 堂 高 虎 771  
常 磐 井 殿 戈 346・663・722・723・771・1375

常 磐 井 守 敬 661  
常 磐 井 守 實 661・771  
得 能 淡 雲 771  
徳 田 儀 一 793  
徳 田 彦 六 159・333・335・727・771

徳 田 義 範 664  
戸 田 一 心 斎 677・682  
戸 田 勝 隆 135・771  
戸 田 勘 助 772  
戸 田 孫 助 159・335  
戸 田 民 部 少 輔 145  
戸 田 發 恬 643・772  
吉 井 幾 三 郎 703  
富 之 助 174  
富 永 彦 三 郎 223・772

友 松 宗 英 645  
登 城 維 孫 725  
登 城 士 介 725  
豊 田 太 郎 772  
豊 綱 107  
豊 臣 秀 吉 716  
豊 房 107

な  
直 泰 162・335

中 江 藤 樹 158・329・642・708・720・727・772

中 江 与 右 衛 門 160  
中 江 吉 長 329  
中 川 謙 叔 331・772  
中 川 貞 良 158・330・331  
中 川 淨 益 703  
中 野 和 高 650  
中 野 和 高 772  
中 野 翠 園 648  
中 野 忠 晴 772  
中 野 寅 雄 703  
中 野 雅 夫 773  
中 野 光 773

中 村 叔 實 331  
中 村 俊 治 773  
中 村 坦 藏 349  
中 村 坦 藏 773  
中 村 俊 治 251  
中 村 正 孝 678  
中 村 正 典 703  
中 村 宗 哲 703  
永 原 彦 之 丞 705  
七 代 伊 豆 守 延 行 110  
七 代 清 綱 109

仁 井 三 魚 641・773  
仁 井 退 藏 350  
西 谷 正 誼 676  
西 山 美 矩 690  
二 条 兼 基 483  
二 代 宗 泰 108  
二 宮 敬 作 294・723・773

に  
沼 田 恒 夫 773・931

ぬ  
野 田 廣 足 339・661・773  
野 々 村 玄 透 773  
野 々 村 長 左 衛 門 183  
野 々 村 彦 左 衛 門 704  
宜 綱 107  
法 橋 興 慶 708

の  
野 田 廣 足 339・661・773  
野 々 村 玄 透 773  
野 々 村 長 左 衛 門 183  
野 々 村 彦 左 衛 門 704  
宜 綱 107  
法 橋 興 慶 708

は  
芳 我 敏 藏 342・644・678  
芳 我 弥 三 衛 門 313

八 代 豊 綱 109  
八 幡 宮 官 司 715  
守 實、忠 寿  
服 部 正 忠 648  
浜 田 文 勢 斎 649  
反 田 八 郎 兵 衛 774  
反 田 八 郎 兵 衛 939

半 助 725  
半 兵 衛 723  
藩 札 185  
盤 珪 334・350・468・641  
盤 珪 国 師 223・707  
盤 珪 禪 師 740  
盤 珪 永 琢 159・169・701・774

ひ  
彦 六 寄 隆 727  
久 衛 758  
檜 田 一 774・1335  
人 見 極 馬 346  
人 見 八 郎 右 衛 門 161  
兵 頭 式 部 守 敬 338  
兵 頭 守 敬 446・722・774  
兵 頭 正 秀 722  
兵 頭 正 魁 774  
兵 頭 守 實 722  
兵 頭 義 高 774  
平 田 鎮 胤 340・774  
平 田 助 右 衛 門 164  
平 塚 健 775  
平 野 正 臣 775  
弘 岡 道 明 775  
広 宜 711

ふ  
福 井 茂 平 306  
福 五 郎 247  
房 綱 107  
藤 枝 富 貴 682  
藤 枝 孫 助 352  
藤 枝 紋 左 衛 門 684  
藤 枝 菟 谷 764  
藤 田 伊 三 郎 659  
藤 森 弘 庵 345  
藤 原 定 直 719  
藤 原 純 友 104  
藤 原 愷 齋 141  
藤 原 仲 麻 呂 712

麓 屋 有 儀 662  
冬 載 663・689・771  
武 右 衛 門 725  
文 治 725  
文 歴 175

へ  
別 宮 四 郎 兵 衛 猶 重 337  
別 宮 猶 重 775  
別 峯 467・641  
別 峯 海 瑞 169・775

ほ  
法 眼 院 162・164・468  
鳳 山 484  
細 井 広 沢 714・715  
細 井 草 山 640  
細 井 治 兵 衛 251  
細 川 一 776  
程 野 宗 兵 衛 308  
程 野 茂 三 郎 309・776・1331  
堀 内 曉 風 674  
堀 澤 周 安 311・664・690  
776  
本 間 遊 清 725  
卜 星 建 洞 481・775

ま  
前 田 夏 蔭 725  
弥 七 725  
孫 右 衛 門 725  
孫 六 725  
正 綱 107  
政 尾 藤 吉 301・776  
榊 田 與 三 郎 776  
榊 山 健 三 776  
増 亀 利 兵 衛 705  
松 井 園 五 郎 777  
松 岡 高 堅 777  
松 岡 新 太 郎 282  
松 岡 淳 左 衛 門 高 堅 221・340  
松 平 定 伯 197・715  
松 田 角 太 郎 307  
松 田 久 慎 690  
松 田 月 洲 649  
松 田 久 彰 689  
松 原 綱 倫 391  
松 村 正 恒 777

人物索引

松村正直 306  
 松本山智 714  
 万沢珍平 643  
 人物索引 渡右衛門 725

み  
 水沼成隆 643  
 三瀬幸三郎 777  
 三瀬孫四郎 229  
 三瀬諸瀧 293・722・723  
 777・1375  
 三瀬弥助 705  
 光義泰 329・725  
 森島札政 681  
 森島正直 681  
 森島宜陸 681  
 宮田藤融 650  
 宮脇通赫 355・777  
 三輪執斎 181・708・714

む  
 向居源兵衛 119  
 宗泰 107・114  
 村上是哉 309・312  
 村上莊三 778  
 村田春門 725

め  
 明澄 765  
 明宝院 725

も  
 毛利輝元 716  
 元親 116・120  
 守貞 339  
 森井喜八郎 349・350  
 森井千代丸 350・778  
 森永覺太郎 778  
 森永富茂 778・1260  
 森脇兵衛 267

や  
 八木甚兵衛 703  
 安川右仲 221・779  
 安綱 107  
 泰秋 344・443・726  
 泰温 173・177・179・  
 182・183・184・  
 336・647・666・  
 676

泰興 172・179・675・  
 689・726  
 泰堅 167  
 泰都 660  
 泰茂 172  
 泰輔 107・109  
 泰濟 340・441・647  
 726  
 泰武 177・188・338・  
 726  
 泰理 343  
 泰周 661・679  
 泰恒 168・169・170・  
 179・335・639・  
 676・678・689・  
 726  
 泰候 165・177・338・  
 640・726  
 泰社 344・726  
 泰傳 641  
 泰令 345  
 泰広 336・667  
 泰賢 165・337  
 泰衛 177・182・183・  
 186・187・195・  
 338・640・660・  
 667  
 泰統 170・173・179・  
 335・646・660・  
 726  
 泰粹 726  
 泰行 177・338・640・  
 726  
 泰八 東 662  
 泰矢野喜徳治 682  
 泰矢野琢心斎 678  
 泰矢野唯一 671  
 泰矢野辰巳 683  
 泰矢野玄道 285・346・644・  
 722・743・779  
 泰矢野若狭守行定 115  
 泰弥平治次正 680  
 泰山下正功 675  
 泰山下正路 675  
 泰山田積善 779  
 泰山田東海 342・779  
 泰山中稷威道別 649・779  
 泰山本加兵衛 306  
 泰山本節庵 344・644・779

山本素軒 707  
 山本大参事 277・280  
 山本尚徳 251・306・722・  
 723・779・793

ゆ  
 行胤 110  
 由比浮舟 668・779

よ  
 横田傳松 454・779  
 吉川栄春 649  
 吉川元長 716  
 吉田国則 657  
 吉元謙一郎 780・1335  
 吉郎右衛門 725  
 義敬 775  
 米沢晓明 674  
 與六 725

り  
 力石吉地 349

ろ  
 六代宜綱 109  
 六兵衛 725  
 魯山了瑛 486

わ  
 若宮勝助 649・656  
 若宮晴徳 648  
 若宮養徳 780  
 若宮發徳惟正 647  
 脇坂中務少輔安 143  
 治  
 脇坂安治 780  
 脇坂安元 144  
 脇坂中務少輔 145  
 脇坂安治・安元 143  
 渡邊勘兵衛 139・780  
 渡邊唯一 780  
 渡辺弥兵衛 684

一般項目索引

あ  
 アクトピア大洲 1289・1294  
 あいわ福祉作業所 868  
 あしあらい 529  
 あやふり 600  
 相定之覚 725  
 赤煉瓦館 742  
 秋の彼岸 573  
 秋彼 574  
 上米の制 184  
 字の変更 814  
 足入れ 582  
 網代騒動 158  
 遊ばせ歌 616  
 阿蔵 791  
 阿蔵古墳 99  
 充行 176  
 宛行(充行) 167  
 穴神洞窟 84  
 雨具 542  
 雨乞い歌 612  
 雨乞い踊り 620  
 荒田立石 94  
 新彼岸 584  
 新盆 584  
 有友文書 118  
 有松のナンテン 734  
 歩く市役所 1059  
 粟島神社 456  
 粟島神社の巨石 97  
 遺跡  
 粟津 103  
 粟津村 799  
 粟津村郷土誌 789  
 粟津小学校 385  
 粟津中学校 389  
 安西宿仰 488  
 安西寺 488  
 安産のまじない 587  
 安政大地震 238  
 安養寺 488

い  
 いずもやしき 549  
 いちまき 526  
 いぼ岩 94

いもたき 746  
 いろは丸 265  
 五十崎 103・786  
 筏流し 746・1353  
 筏流し歌 609  
 育児 578  
 池ノ端家 167・175  
 為齋川田先生墓 720  
 石鉄 793  
 石鶏 587  
 石籠教南予教会 514  
 石燈籠 706  
 石原のフジ 733  
 石割歌・石工歌 610  
 倚松堂 722  
 伊豆権現社 438  
 一の瀬の石神様 597  
 一の宮神社ムク 729  
 ノキ・エノキ・シラカシ 群生地  
 市木 791  
 田舎の四季 311  
 稲田橋 788  
 稲荷神社 458  
 稲荷山公園 739・1391  
 文の子 605  
 伊予一國絵図 156・158  
 伊予生糸 1314  
 伊予黄葉宗 169  
 伊予大洲社 667  
 伊豫温故録 445  
 伊予銀行大洲支店 1339  
 伊予銀行大洲本町支店 1340  
 伊予蚕糸農業協同組合連合会 1314  
 伊予腰 668  
 伊予勢の中国出兵 123  
 伊予ふれあい大洲福祉作業所 868  
 入合地 529・530  
 医療関係施設 915  
 医療施設 918  
 医療対策 919  
 慰霊塔 991  
 岩宿遺跡 83  
 祝いごとの歌 612

う  
 うかれおし 532・576  
 うぶ毛おろし 579  
 鶴岡い・川下り 745  
 浮亀橋 319  
 牛追歌 607  
 氏神 527・528  
 白ひき歌 608  
 内子 786  
 内子銀行 1332  
 内ノ子騒動 190・194  
 内山筋 178  
 打越立石 94  
 宇都宮時代 441  
 宇都宮神社 438・455・457・  
 458  
 宇都宮神社本殿 705  
 宇都宮文書 446  
 宇津神明社 441  
 宇津のサザンカ 729  
 宇津のネズミサシ 733  
 宇津のムクノキ 732  
 宇津のモッコク 733  
 産土神 528  
 梅川の由来 591  
 宇和島街道 1349  
 宇和島県 793

え  
 Aコープおおず 1266  
 永徳寺 489  
 営農事業面 1263  
 役務組織 179  
 駅窓雑録 349  
 江戸御供 177  
 江戸留守居役 214  
 用日記  
 江戸時代の出初式の起源 954  
 愛媛銀行大洲支店 1341  
 愛媛クミアイ食肉センター 1308・1309  
 愛媛県会仮規則 797  
 愛媛県教育会大洲支部 403  
 愛媛県教育会喜多部会 402

愛媛県教育研究 405  
協会大洲支  
部  
愛媛県蚕業試験 310  
場  
愛媛県史概説 1034  
愛媛県政史 1026・1027  
愛媛県立大洲高 390  
等学校  
愛媛県立大洲高 391  
等女学校  
愛媛県立大洲農 391  
業高等学校  
愛媛県労働金庫 1342  
大洲支店  
愛媛信用金庫大 1341  
洲支店  
愛媛帝京短期大 393  
学  
愛媛帝京幼稚園 395  
愛媛鉄道 320  
恵美須まつり 747  
円高騰 1308  
延享札 187  
圓通閣 492  
圓満寺 485・784

お  
「大洲町中拾人 945  
与」前書  
お伊勢講 586  
おおざ赤煉瓦館 705  
お抱え工 656  
お勤兵衛屋敷 140  
おこもり 577  
お接待 568  
お月見 573  
おとし 533  
おなごし 533  
おはなはん通り 742  
お盆 571  
おぼんまんま 533・546  
おもや 526・549  
御預所 173  
御扱衆 163  
王政復古 262  
王陽明学 181  
王陽明画像 707  
黄葉宗 169  
奥旨開祖尊記 710

奥旨軒のキンモ 733  
クセイ  
横松山西御々寺 110  
大鬼とかずら 596  
大川鐘乳洞 734・741  
大川村 799  
大貨 799  
大貨のヤマモモ 737  
大洲・喜多衛生 913  
事務組合  
大洲・脇川伝染 918  
病隔離病舎組  
合  
大洲愛育ホーム 865  
大洲育成園 867  
大洲伊予節 641  
大洲温泉 744  
大洲街道 1349  
大洲紙騒動 229・314  
大洲学園 866  
大洲北中学校 386  
大洲・喜多伝染 918  
病隔離病舎  
大洲旧記 107・116・173・  
223  
大洲享保札 185  
大洲銀行 1331・1332・1334  
大洲久米神社 443  
大洲県 793  
大洲好人録 224・725  
大洲幸楽園 860  
大洲三鬼 675・677・678  
大洲三筆 640  
大洲市・喜多郡 918  
町村組合  
大洲市教育委員 401  
大洲市議会歴代 830  
議員  
大洲市議会歴代 829  
議長、副議長  
大洲市行政機構 836  
大洲市財政の推 853  
移  
大洲市奨学資金 402  
貸与条例  
大洲市総合開発 1079  
計画第一次計  
画  
大洲市総合計画 1085  
第二次

大洲市同和教育 425  
研究協議会の  
結成  
大洲市内神社の 454  
概要  
大洲市内の官公 1067  
署・施設等  
大洲市・長浜町 913  
環境センター  
大洲市農林振興 1197  
委員会  
大洲市の預貯金 1347  
実績  
大洲市母子福祉 875  
連合会  
大洲商家由来記 170・185  
大洲商家由来記 183  
大洲小学校 377  
大洲商業銀行 1332・1334  
大洲商工会議所 705・1302  
大洲商工事務所 705  
大洲少年自然の 398  
家  
大洲初期藩札 185  
大洲市立図書館 420  
大洲市歴代市 827  
長、助役、取  
入役  
大洲城山郷土館 423・745  
大洲市を考える 1234  
百人委員会  
大津侵攻 117  
大洲神伝主馬流 718  
泳法  
大津地蔵ヶ嶽 110  
大洲児童館 424・865  
大洲住宅協会 1319  
大洲城 303・720  
大津城 145  
大洲城宇綿櫓 700  
大洲城下台所 703  
大洲城下の町 1281  
大洲城高欄櫓 700  
大洲城三の丸南  
隅櫓  
大洲城跡 720  
大洲城台所櫓 700  
大洲城の人柱 589  
大洲神社 443・449・743  
大洲菅根衆 664

大洲総合運動公 1392  
園  
大津総町中之絵 148  
園  
大洲タバコ耕作 1154  
組合連合会  
大洲太郎宮 443  
大洲太郎大神宮 441  
大洲地区広域消 971  
防事務組合  
大洲停車場南線 1390  
大洲手鑑 215・789  
大洲道路 791  
大洲新谷藩政編 195  
年史三  
大洲の石伏 1324  
大洲農協合併後 1267  
のおもな事業  
内容  
大洲農業協同組 1261・1342  
合  
大洲農地分布図 1117  
大洲俳人録 671  
大洲八幡宮由来 445  
略記  
大洲藩記 792  
大洲半紙 542  
大洲藩主加藤家 726  
墓所  
大洲藩主加藤家 706  
歴代画像  
大洲藩史料 257  
大洲バイパス 1358  
大洲半紙 314  
大洲東中学校 389  
大洲平野土地改 1182  
良事業  
大洲秘録 110・169・179・  
180・469・1324  
大洲盆地 11  
大洲町警察署庁 705  
舎  
大洲町拾人与 1282  
大洲町外七か村 917  
伝染病隔離病  
舎組合  
大洲まつり 747  
大洲蔵売買所 309  
大洲南中学校 386  
大洲村 799

大洲幼稚園 393  
大洲和歌集 224・339  
大洲(若宮)騒動 277  
大洲和紙 1311  
大竹伊豆権現社 441  
大竹神社 438・457  
大友氏の侵攻 117  
大成小学校 381  
大成中学校 387  
大成村 799  
大又遺跡 92  
大晦日 576  
大本教 512  
大本教大洲分苑 513  
大元神社 440・461  
御替地 158・178  
御神楽式 719  
翁問答 331  
奥福騒動 247  
小田筋 178  
御供知行 176  
踊庭の濡れ女 594  
鬼あそび 603  
帯とり 578  
御觸か達記 473  
富士山公園 1391  
母屋 552  
卸売・消費者物 1347  
価指数  
宇綿櫓 304  
温古 185  
温故集 162・168・183・  
338・651  
温帯性植物 73  
温帯性中山帯 67

か  
カヌーの町 742  
かがりび 553  
かせくり歌 609  
かため 581  
かぶりもの 541  
がらん 907  
下位台地 19  
介護キップ制度 881  
海外へ生産拠点 1308  
海禅寺 167・174  
海防備論 345  
開田事業 1134  
開発許可制度 1387・1394

替地 155・157  
蛙が峠 594  
香川銀行大洲支 1341  
店  
鑑草 331  
隔離病舎 917  
神楽 619  
駆付消防 945  
加工業 1139  
囲碁 210  
柁谷文書 121  
梶ヶ谷のヤマモ 737  
モ  
鍛冶谷城 119  
春日社 438  
河成地形 10  
数え歌 605  
家庭児童相談室 866  
加藤家譜附冊 161  
加藤家譜役免許 716  
状  
加藤家年譜 150・170・178・  
183・185・188・  
189・196・947  
加藤光泰聖廟並  
びに大洲藩主  
加藤家の墓所  
鹿野川ダムの効 22  
力  
火防役 155  
上黒岩の岩蔵 84  
上須戒小学校 385  
上須戒中学校 387  
上須戒のおがた 736  
まのき  
上須戒のモッコ 735  
ク  
上須戒村 799  
上灘 786  
上ノ町 787  
紙すき歌 610  
紙役所 787  
雷よけのまじな 588  
い  
亀ヶ岡の城 145  
亀山公園 739  
川田為翁室岡 721  
氏墓  
川田雄琴一家の 720  
墓

川田雄琴華会約 715  
 川 成 160  
 川 辺 103  
 川まつり 571・746  
 瓦 師 655  
 甘蔗栽培 214  
 君羊録 141  
 神南山 744  
 羊頭綬 955  
 患者たらい回し 975  
 事件  
 寒の行事 566  
 問伐推進員 1279  
 問伐促進対策事 1278  
 業  
 勸農銀制度 240  
 寛永一年在番 154  
 寛永四年在番 154  
 寛政異学の禁 337  
 寛政重修諸家譜 150  
 寛政の大火 199  
 環境保全 914  
 韓魏公衆 225  
 韓魏公伝録 225  
 観光行事 746  
 観光さくらまつり 746  
 観光施設 744  
 観光事業 745  
 外国為替相場 1346  
 学 室 339  
 学習指導要領の 373  
 改訂  
 学事奨励に関する被仰出書 356  
 学 制 357  
 学 童 疎 開 371  
 合併の協議書 808  
 合併前の農協 1249  
 同組合の概要  
 学校設立伺書 360  
 学校における同 428  
 和教育  
 臥 竜 590・739  
 臥 竜 山 荘 740  
 臥竜山荘臥竜院 703  
 臥竜山荘不老庵 703  
 臥 龍 太 鼓 620  
 元 文 日 録 176・1324

き  
 きもいり 144・145  
 きらめき大洲21 1100  
 掃化植物 76  
 機械揚水 1114  
 折願行事 585  
 企業誘致 1318  
 木こり歌 610  
 寄生虫 902  
 北只の粟島神社 443  
 北只東大洲線 1390  
 喜多銀行 1332  
 喜多郡教員組合 404  
 喜多郡の成立 102  
 喜多郡役所 798  
 喜多小学校 377  
 喜田々 466  
 喜多村 799  
 喜多山小学校 384  
 喜多山村 799  
 喜多幼稚園 394  
 橋家神道 337  
 記念物 720  
 喜風会 690  
 基本健康診査 906  
 喜多山三島社 441  
 客馬車と人力車 1360  
 弓 術 678  
 旧大洲商業銀行 705  
 本店本館  
 旧町村別面積 6  
 給 人 144・167  
 給人所法度 144  
 巨石遺跡 742  
 共 済 事 業 1258  
 共 済 事 業 面 1265  
 共 同 募 金 884  
 共 立 学 舎 356  
 享 保 札 186  
 享保の大飢饉 183  
 供 応 使 155  
 供 応 役 164  
 供給処理施設 1393  
 供 出 522  
 居 城 の 丸 146  
 教育活動の拡大 376  
 教育活動の充実 375  
 教育ニ関スル勅 367  
 語

清 谷 寺 476  
 清谷寺旦那旗状 108  
 郷土芸能 618  
 木 馬 529  
 金山出石寺 141  
 金 蔵 787  
 金 属 工 芸 658  
 金 馬 殿 955  
 金 融 1255・1329  
 金融機関別貸出 1345  
 金残高  
 金融機関別預 1344  
 (貯)金残高  
 金 龍 寺 478  
 金竜寺のイチョ 731  
 ウ  
 勤務評定問題 404  
 禁 制 716  
 錦 綯 舎 348  
 議員選挙規則 1034  
 祇園公園 739  
 祇園社 436  
 祇園神社 450・743  
 祇園まつり 748  
 祇園祭 789  
 求 道 軒 222・336  
 牛頭天王社 437  
 行政機構 833  
 魚 類 61  
 漁 業 1325  
 銀 札 202  
 銀 納 159・172・193  
 く  
 く い 打 ち 歌 609  
 くみあい食品工 1308・1309  
 業  
 くみあい食品工 1265  
 業株式会社  
 ぐり(リンパ腺 587  
 のはれ)のま じない  
 区会開設仮規則 797  
 公 庫 供 応 役 155  
 草 分 け 519  
 口 入 銀 192  
 口 米 160  
 区 長 総 会 1061  
 区 町 村 会 法 1042  
 忽 那 島 178

句 碑 674  
 久保小学校 386  
 熊野神社 439・459  
 組 入 り 529  
 組 頭 519・520  
 組 詰 所 787  
 久 米 103  
 久 米 郷 103  
 久米小学校 378  
 久米村 799  
 久米幼稚園 394  
 蔵 入 り 143・144  
 蔵川小学校 381  
 蔵川騒動 195・519  
 蔵川中学校 388  
 蔵川八寺 493  
 蔵川村 799  
 蔵米給与 167・168  
 鞍 皆 具 175  
 公料・公領・天領 173  
 繰糸女工 311  
 繰 棒 192  
 黒 住 教 512  
 黒住教八多喜教 512  
 会所  
 桑 つ み 歌 611  
 郡 中 786  
 郡 内 178  
 郡内(大津)勢 119  
 中国出兵  
 郡 役 所 799  
 け  
 溪 壽 寺 169・491・744  
 経 済 成 長 率 1346  
 傾 斜 別 面 積 7  
 溪 壽 寺 の 杉 731  
 慶 雲 寺 476  
 警 防 団 961  
 毛 付 160  
 検見取(毛見取) 171  
 見 性 庵 486  
 県営富士山農地 1200  
 開発事業  
 県営新谷大洲用 1132  
 排水幹線  
 県 蚕 糸 運 1314  
 県道・国道状況 1357  
 県 有 林 1269

健康都市宣言と 897  
 地区組織づく 71  
 検 地 制 度 524  
 検 地 帳 519  
 献 芹 唐 語 286  
 絹本著色阿弥陀 707  
 如来図  
 絹本著色釈迦三 706  
 尊像  
 絹本墨画騎鶴文 706  
 珠図  
 芸 能 718  
 月窓公着用甲冑 710  
 現況表(市合併 811  
 当時の市勢)  
 現代の神社 445  
 こ  
 コ レ ラ 893  
 コレラ流行 893  
 ゴルフ場 745  
 こうろく 557  
 こどもの遊び 599  
 こん虫類 60  
 ご 法 度 551  
 ごみ処理 912  
 恋 木 786  
 恋 木 古 墳 99  
 工 業 1306  
 工業団地 1319  
 工 芸 710  
 工場誘致 1318  
 工場誘致と工業 1318  
 団地  
 公害対策基本法 914  
 公害防止協定 915  
 公共下水道 1380・1393  
 公 定 歩 合 1346  
 公 民 館 407  
 公 有 林 1268・1269・1271  
 広域営農団地農 1231  
 道整備事業  
 広報「おおず」 1057  
 広 報 紙 1057  
 広 葉 樹 67  
 甲 殻 類 66  
 交通安全対策事 1371  
 業  
 交通・運輸 1348

交通障害保障制 891  
 度  
 交 通 事 故 1368  
 交 通 量 1366  
 光 源 寺 475  
 光照山正覚院弁 514  
 財天  
 光 照 寺 487  
 光 福 寺 499・785  
 光 明 照 院 483  
 光 義 寺 487  
 孝 義 録 182  
 河野氏との戦い 115・116  
 河向のコナラ 734  
 脈 水 舎 277  
 脈 東 中 学 校 388  
 後 背 湿 地 20  
 洪 積 層 33  
 洪 福 丸 267  
 神 山 県 793  
 香 踏 799  
 耕地整理事業 1127  
 耕地面積の推移 1115  
 降 水 量 45  
 鉱 業 1322  
 鉱 山 1322  
 鉱 泉 35・1323  
 鉤 股 弦 718  
 懐 慨 歌 集 348  
 興 徳 寺 501  
 興 神 寺 482  
 隣 530・586  
 隣 学 舎 院 182  
 隣 買 事 業 面 1266  
 古 学 堂 339  
 古 学 堂 跡 722  
 国営農地開発事 1203  
 業  
 国 鉄 320  
 国鉄各駅の乗車 1367  
 人員  
 国 土 緑 化 1273  
 国民学校令 370  
 国民健康保険 918  
 国民健康保険組 920  
 合  
 国民宿舎「臥竜 苑」 744  
 国民年金 890



国民服 537  
 国有林 1268  
 国陽明学 331  
 国立大洲青年の家 398  
 国立青年の家 742  
 黒色片岩地帯 30  
 小作料及小作賃 1119  
 行  
 金刀比羅神社 456  
 子供ねり相撲甚句 719  
 粉ひき歌 608  
 小早川隆景制札 716  
 原本  
 木びき歌 610  
 米生産の推移 1151  
 米つき歌 608  
 子守歌 613  
 小物成 145・192・193  
 古文書(西禪寺) 716  
 雇用量 563  
 金光教 511  
 金光教大洲教会 512  
 金光教会粟津教会 512  
 金比羅神社(山口神社) 743  
 金刀比羅宮算額 718  
 遺題  
 婚 姻 581  
 紺紙金字大般若經 713  
 強盗丸事件 982  
 郷組 254  
 郷筒(農筒) 252  
 獄門控 231  
 護国寺 502  
 五人組 519・520  
 五人組十人組 520  
 五人組榎前書 946  
 御法度 520  
 御用生糸 1314  
 御用銀・御用米 186  
 御用銀・寸志銀 171・243  
 五稜郭 299  
 五輪山の自生林 730  
 御料所 173  
 五郎 791  
 五郎宇都宮神社 441

五郎 791  
 五郎大又道跡 86  
 五郎地区開田事業 1133  
 五郎宮本の遺跡 89  
 呉良亨記 654  
 鹿呂あわせ 605  
 さ  
 さいさぎ 589  
 さつま汁 543  
 さやの丸 146  
 さるこ 537  
 西園寺氏との戦い 114  
 西光寺 485  
 西禪寺 500  
 西禪寺過去帳 110  
 西禪寺のビャクシン 730  
 西禪寺文書 110・111・716  
 西念寺 499  
 西方寺のオハツキイチョウ 736  
 災害救助 887  
 砕石工場 1323  
 済福寺 169  
 祭祀的遺構 86  
 逆倒竹 597  
 酒屋の米とぎ 610  
 歌・酒造り歌 1143  
 作目編成の動向 118  
 笹ヶ峠合戦 118  
 笹山梅菴寺子制 352  
 誨之式目  
 指上米 177  
 差上米 172  
 讃岐伊予土佐阿波探索書  
 侍 町 147  
 三の丸 147  
 山頂の巨石群 94  
 山腹緩斜面 17  
 山麓地 17  
 参詣歌 611  
 蚕 養 神 309  
 蚕 養 神 483  
 産業組合 1239  
 産業組合の概要 1241  
 算 額 337

在宅介護支援センター 872  
 在宅福祉サービス 871  
 在宅老人介護手当 872  
 財政再建計画 852  
 財政の推移 841  
 財団法人新谷公益会 1270  
 座 操 手 工 業 307  
 し  
 J A 大 洲 1261  
 ショートステイ 871  
 事業  
 しいたけ 1271・1273・1276  
 し尿処理 913  
 しょたいば 546・549  
 しりとり 605  
 しろかき歌 607  
 じば岩(普段岩) 536  
 塩屋町創成要状 717  
 潮 垢 離 祭 452  
 鹿 踊 り 619  
 式 台 552  
 市 議 会 828  
 仕 事 着 536  
 紫洲川田先生墓 721  
 獅子舞 618  
 四九日までの供養 584  
 鎮めの宗教 474  
 史 跡 720  
 市政懇談会 1057・1059  
 市制実施 805  
 市制町村制 1042  
 市政モニター 1062  
 市設置申請 809  
 私設消防隊 979  
 庄 書 院 182  
 止善書院記追加 714  
 止善書院明倫堂 182・714  
 止善書院明倫堂 722  
 跡  
 自然堤防 19・791  
 七五三 575・580  
 輻重車 953  
 失業対策事業 1053  
 指定文化財 699

祠 堂 182  
 崇瑞林寺事件 982  
 市文化財保護条例 699  
 例  
 下野国日光山 708  
 下ノ町 787  
 下屋敷 159  
 霜 51  
 社会教育における同和教育 429  
 社会福祉協議会 879  
 社会保険病院 915  
 社 日 569  
 主任児童委員 878  
 主要事業の推移 1263  
 主要農畜産物地区別生産額調 1145  
 出 産 578  
 出 石 寺 503・741  
 出石寺信仰 466  
 市 有 林 1270  
 朱 子 学 158  
 宗門改帳諸記録 498  
 宗門御条目扣 468・504  
 首楞嚴神咒 713  
 習 知 堂 221  
 週休二日制 563  
 就学前同和教育 428  
 集合住宅 551・552  
 集 成 材 1318  
 小学教則 358  
 小学校一覽 361  
 小学校令 365  
 小起伏丘陵 17  
 小起伏山地 14  
 少年自然の家 742  
 処 女 会 414  
 正 月 565  
 正 願 寺 493  
 正 傳 寺 169・477  
 庄 屋 体 制 151  
 松根油と薪炭な 1273  
 どの供出  
 松 林 寺 487  
 昭 和 区 787  
 省 略 令 186・188・190・202  
 寺 跡 713  
 寺 道 639

書にすぐれた僧侶 641  
 書名のある学者 642  
 消防組規則 949  
 商 業 1281  
 商業関係団体 1301  
 商業協同組合 1304  
 商業診断 1301  
 商業の発達とその消長 1285  
 商 團 1300  
 商 札 条 目 210  
 商店従業員 1298  
 商店 数 1297  
 商品販売額 1299  
 庶民金融業 1343  
 苧 蒲 ま つ り 747  
 勝 永 寺 497  
 植 樹 祭 1274  
 聖 臨 寺 501・789  
 賭物価値下令 215  
 市立大洲病院 915・918  
 市立博物館 745  
 城 在 番 154  
 城 山 公 園 738  
 心配ごと相談所 880  
 身体障害者福祉 861  
 身体障害者療護施設大洲ホーム 1265  
 借用事業面 683  
 神伝主馬流 513  
 神道大成教愛媛多賀教会 513  
 神道実行八多喜教会  
 神 明 社 438  
 真 光 寺 497  
 森林開発公団 1269  
 森林組合の改組 1275  
 と合併  
 森林組合の設立 1272  
 森 林 公 園 1392  
 森林整備計画 1280  
 森林総合整備事業 1274・1278  
 診 療 所 916  
 新教育の変遷 374  
 新市建設計画 805  
 新富士橋遺跡 86

新農業構造改善事業 1230  
 新農村建設事業 1167  
 新屋敷のナツメ 734  
 地方給与 167  
 地方勤 177  
 事業所数、従業員数、製造品出荷額  
 自作農創設 1118  
 地震よけのまじない 588  
 自心印陀羅尼 712  
 地蔵ヶ嶽城 145  
 十か町村合併 805  
 実業補習学校 395  
 実行教 513  
 実行教新谷教会 513  
 自動車保有台数の推移 1365  
 児童の集団疎開 371  
 児童福祉 863  
 児童扶養手当 892  
 砂利と碎石 1322  
 十二社権現社 439  
 十 人 組 519  
 十六羅漢図 706  
 自由民権思想 797  
 壽 永 寺 170・482  
 柔 術 681  
 上位台地 18  
 成 福 寺 494  
 定 大 坂 177  
 定 大 豆 160  
 定 府 177  
 定 米 160  
 定 免 171・192・193  
 定 免 制 170  
 定 林 寺 493  
 城 下 町 147  
 城 願 寺 107・486  
 常勤理事一覽表 1264  
 常 徳 寺 477  
 常緑広葉樹林帯 86  
 縄 文 海 進 67  
 縄 文 早 期 86  
 縄 文 草 創 期 84  
 醸 造 1316  
 人 口 動 態 923  
 人 工 林 1269

人生儀礼 578  
 神社交遊一覽表 435  
 神力寺 488  
 陣屋縄張 164

す  
 すじ 526  
 すみ酒 581  
 水泳術 683  
 水管車 953  
 水生こん虫類 64  
 水生植物 75  
 水天宮まつり 747  
 水稻生産量 1148  
 水利慣行 1113  
 須恵器 98  
 菅根会 663  
 少彦名神社 453  
 菅田 791  
 菅田宇都宮社 441  
 菅田宇都宮神社 443  
 菅田金比羅神社 731  
 の杉  
 菅田小学校 380  
 菅田正伝寺の遺跡 89  
 菅田村勢警備の状況 951  
 菅田中学校 387  
 菅田宮の首の遺跡 89  
 菅田村 799  
 少彦名神社 743  
 少彦名神社のヒ 736  
 イラギモクセイ  
 巢内式部幽居地 723  
 並びに葛  
 住吉神社のケヤキ 735  
 炭ひき歌 610  
 角力 687  
 相撲ねり 533  
 寸志銀 188  
 瑞安寺 496  
 洲藩規則集 208

せ  
 せっせっせ 604  
 生活福祉資金 881  
 生活保護 858

生産指導 1254  
 生長の家 514  
 生長の家大洲教区  
 成人病 904  
 西南戦争 281  
 西南騒擾事件 281  
 西福寺 491  
 西方寺 484  
 青年学校 397  
 青年訓練所 396  
 青年団 413  
 栖岸院 490  
 栖源寺 494  
 涪源寺 482  
 涪流園 913  
 涪良記 135・136  
 涪涼寺 478  
 精神薄弱者福祉 866  
 精神保健 911  
 製材 1317  
 製糸 1311  
 製糸紙 1310  
 製糸業 305  
 製糸工場 1311・1312  
 製造品出荷額 1306  
 静余小録 349  
 石造美術 706  
 関が原の戦い 144  
 関所 1349  
 関谷番所跡 724  
 積麿邦語 148・151・184・186・211  
 摂津氏との戦い 114  
 摂津領 178  
 節季 1287  
 節分 567  
 瀬張り 1325  
 千枚岩地域帯 32  
 仙薬立石 94  
 先行谷 10  
 専業・兼業別農家数の推移  
 泉徳寺 492  
 戦国時代の大津 114  
 戦後労働運動 1051  
 戦略プロジェクト 1108  
 普安寺 495

そ

そん 526  
 そり 539  
 宗安寺 498  
 桑園反別 1160  
 桑田寺 491  
 曹溪院 173  
 葬儀 583  
 葬祭 583  
 僧侶齋禁止 797  
 槍術 675  
 槍銘大洲藩 712  
 臣岡本治郎九郎源陸国造  
 総合運動公園 742  
 総合開発計画 1194  
 総社大明神社 436・455  
 総持寺 496  
 底なし田出土の土器  
 底なし田の遺跡 88  
 外歌 607  
 曾根 103  
 造林・保育 1274  
 雑歌 611

た

鍛工 658  
 ダルトンプラン 370  
 たんなさん 533  
 たんなし 541  
 大海集 665  
 大政翼賛会 322  
 大禅寺 784  
 大典記念喜多郡学賞賞与規程  
 大風よけのまじない  
 太平洋戦争 321  
 平 103  
 平小学校 378  
 退職者医療制度 922  
 田植歌 608  
 田方物成 159  
 高石垣 791  
 高懸 188  
 高掛物 160  
 高虎と大津 137  
 高松城在番 155

高森城攻め 118  
 高森城を奪還 121  
 高山 784  
 高山ニシノミヤ 721  
 巨石遺跡  
 陸園 711  
 澁(米津)城落城 121  
 竹之窪水論 232  
 竹之窪水論実記 232  
 武田千願・豊城の墓 725  
 武田敬孝・成章兄弟生誕地 724  
 田合遺跡 84・87・91  
 田合古墳 99  
 田すき歌 607  
 立山 786  
 田処熊野権現社 441  
 田処熊野神社のカヤ  
 田処境ムクノキ 732  
 田処小学校 382  
 田処の五輪山 72  
 田所柳沢慶助 230  
 田処幼稚園 395  
 田渡筋 178  
 七夕 571  
 田の草取り歌 608  
 田ノ口 791  
 田口天満宮 441  
 田口天満宮のカヤ  
 田口のサザンカ 734  
 頼母子 531  
 頼母子講 531  
 旅勤 177  
 玉川 653  
 玉川公園 740  
 溜池 1113  
 田休み 570  
 太郎宮 435  
 太郎大明神社 436・456  
 端午の節句 569  
 誕生日 580  
 大安寺 489  
 大圓寺 492  
 大恩寺 167・175・494  
 大学啓蒙 330  
 大起伏丘陵 17

大工歌 610  
 大禪寺 481・744  
 大・中起伏山地 14  
 大法寺 487  
 大有益神社 440・458  
 台所櫓と高欄櫓 305  
 第一次農業構造 1170  
 改善事業  
 第三次大洲市総計画 1091  
 第二次農業構造 1217  
 改善事業  
 第四次大洲市総計画 1099  
 団体育開拓パイロット事業 1200  
 男女混浴禁止 797  
 檀家制度 468

ち  
 ちからいし 532  
 地域改善対策事業 888  
 地域構造ネット 1093  
 ワーク模式図  
 地域産業システム 1095  
 地域保健法 900  
 近田市長時代 822  
 知行 167  
 知行地(給地) 167  
 知行取 177・179  
 地区委員 1063・1064  
 地区計画制度 1387  
 地区商業振興団体 1305  
 地区長 1064  
 地区別農用地面積 1112  
 血筋 526  
 治水対策 318  
 地掻き歌 612  
 地方給与 167  
 地方拠点都市 1320  
 地方拠点都市整備計画 1289  
 地方拠点都市地域整備 1319  
 地域整備  
 地方知行 176・178  
 地名のおこり 522

地目別面積 6  
 茶屋の台の遺跡 88  
 中位台地 18  
 中小姓 179  
 中風よけのまじない 587  
 沖積層 34  
 町家 551  
 町村議事会假規則 797  
 町内焼失に付申上口上之覚  
 町人の役割 1284  
 直棒 192  
 直棒・線棒 187  
 長興寺 498  
 長宗我部氏の侵攻  
 長宗我部勢再度侵攻  
 彫刻 708  
 鳥類 57  
 朝鮮出兵 137  
 朝鮮借使 187  
 朝鮮侵略 141  
 朝鮮の役 143  
 徴兵・兵事 990  
 沈水植物 75

つ  
 つつじまつり 747  
 つのかくし 542  
 塚穴古墳 98・725  
 突合橋 1355  
 津々喜谷の家系 110  
 都築文母 110  
 常森の粟島神社 87  
 壺神山 744  
 詰夫 144

て  
 テレビ 1377  
 デイサービス事業 871  
 デコ(人形)まわし 566  
 で 527  
 帝京第五高等学校 392  
 程朱学 338

鉄道 1361  
手まり歌 602  
寺子屋一覽 353  
一般項目索引  
手をつなぐ親の会 866  
天慶の乱 104  
天然記念物 728  
天然痘 893  
天満宮 455・789  
天満神社 436・440・455・461  
天理教 511  
天神教大洲分教会 511  
天領 172  
天領問題 172  
出替わり 558  
出夫 555  
伝染病患者数 896  
電信機の実験 294  
電報電話 1375

と

鶴ヶ森落城 118  
とあみ 1325  
ともがけ 1325  
ともづり 1325  
とんぼつり 606  
灯火 552  
灯籠 553・570  
東一西の山地列 8  
東禪寺 485・787  
東門寺 499  
東洋一のメンヒル 93  
倒韓槍 675・712  
藤樹学 158  
藤樹真姫大坪流 715  
十一ヶ条並びに川田雄琴奥香  
藤樹邸跡 742  
藤堂家寄進状 716  
藤堂時代 441  
常磐町 786  
特設県会 1034  
特別失業対策事業 1053  
特別児童扶養手当 892

特別養護老人ホーム 870  
徳森金刀比羅社 441  
徳森 791  
徳森児童公園 1392  
徳森児童センター 865  
徳森団地 1319  
徳正寺 483  
年祝い 583  
都市計画 1387  
都市計画道路 1288  
都市下水道 1393  
都市マスタープラン 1387  
戸田勝隆文書 717  
土地改良事業 1126  
土地区画整理事業 1393  
土地利用計画制度 1387  
隣組 322  
鳥羽伏見の戦い 275  
富士中学校・帝京第五高等学校富士校 393  
富士山公園 738  
富士山如法寺 153・159・173  
富士山の遺跡 88  
富士山 786  
富士山志 223  
十夜ヶ橋 593・741  
十夜橋霊場縁起 489  
十夜ヶ橋 799  
取笛 176・177  
同業者団体 1305  
同和教育 424  
同和教育の進展 427  
同和教育の充実 427  
同和教育の推進 426  
洞雲寺 495  
道路の発達 1356  
綱山米 172  
土芥寇襲記 168  
土蔵造り 551

な

なわとび 604  
なんぞごと 543・546・547

なんぞごと(も んび) 536  
内分定書 162  
中江藤樹邸跡 720  
中江藤樹筆黄鳥画賛 714  
中江藤樹筆季字積 713  
中江藤樹筆真吾説 714  
中江藤樹筆慎独 714  
中久保 786  
中村比地権現社 441  
中山 786  
中山東の遺跡 88  
長谷牛頭天王社 441  
長土手 792  
長浜 786  
長浜あらし 54  
長浜銀行 1333  
長浜台場築造 257  
長浜船奉行 151  
長浜投網 1324  
栗棚式水系 786  
灘町 786  
名つけ 579  
成能十二社権現 441  
成能大岩 97  
成能村農民二七人同志郷約の地 725  
成見の巨石遺跡 724  
成見の座陰梅 735  
南海治乱記 115  
南一北の地波 8

に

にわか 618  
新谷 787・791  
新谷加藤家伝記 162・164・167  
新谷銀行 1332  
新谷公園 1391  
新谷金毘羅社 441  
新屋郷 103  
新谷小学校 383  
新谷邸屋 164  
新谷中学校 389  
新谷町家持名鑑 788

新谷中絶表の遺跡 89  
新谷の怪樹 592  
新谷のムクエノキ 732  
新谷藩 793  
新谷藩家臣団 180  
新谷藩金蔵 704  
新谷藩家老徳田季一・寄一・寄隆の墓 792  
新谷藩紀 727  
新谷藩主加藤家の墓所 727  
新谷藩陣屋跡 721・742  
新谷藩の創立 162  
新谷藩領 165  
新谷村 799  
西大洲 791  
西岡家文書 168  
西神南山群 97  
日光山並当社縁起 107・708  
日光山並当社縁起絵巻 708  
日照時間 52  
日新舎 221  
日本アライアンス教団大洲協同基督教会 509  
日本勧業銀行大洲出張所 705  
日本基督教団大洲教会 508  
日本聖公会神戸教区大洲聖公会 509  
日本赤十字奉仕団 886  
二の丸 146  
二宮敬作住居跡 724  
日本山海名産図会 1324  
日本書紀校本 198  
入浴サービス 881  
如法寺 174・479・721・740  
如法寺河原のムクロジ 733  
如法寺山群 95

如法寺山頂巨石遺跡 721  
如法寺のツバキ三株 728  
如法寺仏殿 701  
庭歌 608  
鶏の植輪 99  
妊婦の食養生と心がけ 578  
忍術 682

ぬ

沼田市長時代 816  
沼田のイロハカエデ 735  
沼田のタブノキ 730  
林

ね

根来城の戦い 108  
根来山城 110  
眠らせ歌 614  
年忌 584  
年中行事 565  
年中行事歌 605  
年齢別・男女別人口構成図 925  
念仏往生 170  
念仏講 586  
粘板岩地帯 33

の

能楽 688  
脳卒中 905  
脳卒中登録事業 907  
農業状筆録 225  
農家戸数 1136  
農家人口・農業就業人口の推移 1137  
農業委員会 1124  
農業会 1245  
農業会の概要 1246  
農業改良普及事業 1142  
農業共済 1147  
農業協同組合 1248  
農業集落排水施設整備事業 1237  
農業倉庫 1258

農工銀行大洲出張所 705  
農事改良 1140  
農村工業導入 1306  
農村情報連絡施設 1234  
農村地域農業構造改善事業 1236  
農地改革 1121  
農地転用 1115  
農地法 1124  
農民運動 1050  
農用地 1112  
野田村 799  
延尾城の戦い 123  
宜高再び龍王城攻略 122

は

ハードディスク 1308  
パス 1362  
はきもの 539  
はしぞろえ 580  
はぜとり歌 609  
はたおり歌 610  
は虫類・両生類 59  
拝竜権現と人身御供 595  
俳諧 665  
俳類 667  
配石遺構 85・92  
廃仏毀釈 473  
柏水会 691  
博物館 422  
土師器 100  
櫓 312  
八多喜 786・789・791  
八多喜寺 478  
八多喜のイチョウ 731  
畑方物成 159  
畑地かんがい 1114  
八月十八日の政変 255  
八十八夜 569  
八幡宮 435  
八幡神社 435・440・445  
八幡神社社殿 69・729  
八幡神社と社殿 743  
八幡神社本殿 704

初節句 580  
 初出 954  
 法度(給地支配) 144  
 花瀬城の戦 121  
 花瀬山の遺跡 88  
 花まつり(瀧伝会) 569  
 羽子つき歌 601  
 歯の生え代わる 587  
 まじない  
 浜手筋 178  
 弘米 183  
 原町 786  
 針供養 567  
 春賀 791  
 春賀団地 1319  
 春賀の一本杉 732  
 春の彼岸 568  
 暗岩 356  
 氾濫性低地 19  
 版籍奉還 276・792  
 販売 1256  
 販売事業面 1266  
 藩札 186  
 藩主と右筆 639  
 藩主の画道 646  
 藩臣家譜 161・179・181  
 藩臣人数 179  
 藩政時代の神社 441  
 藩政之時分学校 341  
 法則大概  
 幕府巡見使 145  
 馬場 787  
 万盆講 490  
 盤珪国師写経 713  
 盤珪国師筆水屋 707  
 遼磨園  
 盤珪国師墨跡 713  
 盤珪禅師墨跡 350

ひ  
 P T A 147  
 ヒキアイ 522  
 ヒナルワ駄場盤 97  
 状石  
 ひきあい 520・529・530  
 ひとくいとき 544  
 ひな送り(ひなあらし)

日枝神社のチシヤノキ 735  
 日枝神社のムクノキ 735  
 東宇山のクワ 736  
 東宇山のタブノキ群落 730  
 東宇山のハルニレ 728  
 東宇山のヤブツバキ 736  
 引上米 177  
 比志神社 435  
 比志城攻め 105  
 脇川架橋 318  
 脇川のアユ 1324  
 脇川のカジカ 1324  
 脇川の大水害 315  
 脇川の舟運 1351  
 脇川氾濫の記録 22  
 脇川流域グリーンピア協議会 1280  
 脇川流域林業活性化センター 1280  
 脇川柳壇 673  
 脇川緑地 1392  
 火防地蔵堂のネズミサシ 733  
 百姓徒党取扱之覚書 195  
 百万塔添経本 712  
 百万遍 585  
 日雇人 560  
 標高別面積 7  
 平地・野田村 268  
 平地 799  
 平地番所跡 724  
 平野小学校 379  
 平野中学校 387  
 平野村 799  
 平野幼稚園 394  
 平野村 799  
 広瀬 103  
 備前焼大甕 711  
 備中代官所 173

ふ  
 V Y S 886

ふれあい福祉センター 880  
 ふれあい南通り 1289・1294  
 ぶえん 544  
 ぶ(指先がはれて痛む病気)のまじない  
 服装 538  
 福祉事務所 858  
 福祉ボランティア 880  
 ア基金  
 福の森の遺跡 89  
 複層林施業 1274  
 府県会規則 1036  
 府県制 1036  
 扶氏診断法 344  
 藤縄 786  
 藤縄士族会 527  
 藤縄三島社 441  
 藤縄三島神社 719  
 藤縄三島神社社寮  
 藤縄村 785  
 藤の英 662  
 藤陀懸寺 491  
 礼の辻 788  
 扶持 177  
 扶持取 179  
 扶持米 193  
 筆塚 482・642  
 不動穀 104  
 船手組 151  
 夫米 176  
 昔妙山法眼寺 727  
 浮葉植物 75  
 古町 787  
 武家屋敷 551  
 武芸 674  
 武成隊 275  
 夫大豆 160  
 仏事 584  
 佛光山大恩寺 727  
 夫米 160  
 夫役 160  
 分知問題 162  
 文化財専門委員 699  
 文化財保護法 699  
 文化団体一覧 692  
 文芸 659  
 文竜侯行実 203

へ や 526  
 べんとうり 548  
 兵学 686  
 遍照庵 713  
 別世帯 544

ほ  
 ホームヘルパー 880  
 ホームヘルプサ-ビス事業 871  
 ホタルまつり 747  
 ボランティア活動 883  
 ほ乳類 55  
 保育所 863  
 方官 621  
 伯耆国米子城 150  
 法圓寺 500  
 法眼寺 496  
 砲術 684  
 鳳林寺 490  
 寶蔵寺 502  
 北藤録 149・150・153・156・162・163・183  
 北藤録・加藤家年譜 153  
 保健衛生 893  
 保健施設事業 921  
 保健センター 898  
 園場整備 562  
 捕縄 683  
 細井広沢筆明倫堂額 714  
 細井広沢筆明倫堂額 715  
 北海道の開拓 277  
 法華寺 479・717・744  
 法華寺踏役免許状 716  
 本誓寺 170  
 本朝通鑑 343  
 本途物成 159・176  
 本丸 146  
 棒術 682  
 貿易摩擦 563  
 母子及び寡婦福祉 874  
 社

母子相談員 876  
 母子保健 902  
 盆 553  
 盆踊り 572  
 盆踊りの歌 613

ま  
 まきあみ 1325  
 まごころ銀行 884  
 まじない 587  
 馬子歌 611  
 正伯・島坂地区の分離 838  
 辨田市長時代 825  
 町火消し 945  
 松ヶ花 791  
 松くい虫被害対策 1274  
 松下寿電子工業 1289・1306・1318  
 松平定伯筆八幡宮額並びに扇額 715  
 松山城在番 154  
 丸亀城在番 155  
 万福寺 169  
 慢性伝染病 901

み  
 ミニシルバー人材センター 873  
 巳午 584  
 御荷鉾型塩基性岩類地帯 32  
 三島神社 438・439・440・460・785  
 三嶋神社 459  
 三島神社立石 94  
 水と緑の豊かな市民都市 1062・1067・1069  
 水防場 791  
 三瀬瀧生家道歌 723  
 緑のマスタープラン 1392  
 南久米小学校 380  
 南久米中学校 386  
 南久米村 799  
 南筋 178  
 南隅橋 305  
 渡町 786

英濃国黒野身分関係 149  
 527  
 宮参り 579  
 都谷の遺跡 89  
 三善小学校 384  
 三善中学校 389  
 三善村 799  
 妙光山 475  
 民間信仰 578・585  
 民生委員・児童委員 876  
 民俗文化財 718  
 民謡 607  
 民話と伝説 589

む  
 むかでにかまれ 588  
 ないまじない  
 むねあげ歌 612  
 麦打ち歌・麦たき歌 608  
 麦と雑穀 1151  
 麦類生産の推移 1152  
 無形文化財 718  
 虫送り 585  
 虫送り歌 612  
 虫供養 309  
 藤縄神楽 719  
 六つ鹿踊りの歌 612  
 村上市長時代 818  
 村替 165  
 村芝居 577  
 村島公園 740  
 村島地区開田事業 1133  
 村高 160  
 村八分と火事 948

め  
 メンヒル 784  
 名産 749  
 名勝 727  
 名物・名産 748  
 名替市民 839  
 明治維新 274  
 明治時代と神社 443  
 明倫堂 181・182・221・336・714  
 免四ツ 168

免四ツ五分 168

も

一般項目索引

もみじまつり 747  
 もみすり歌 608  
 もやい 558  
 もんべ 537  
 木材供出 1272  
 木材生産と流通 1276  
 木造阿弥陀如来  
 立像  
 木造地藏菩薩立  
 像 708・709  
 木造兜跋毘沙門  
 天立像 708  
 木造盤珪和尚坐  
 像 710  
 木造薬師如来坐  
 像 709  
 木炭 1276  
 木蠟 312  
 本造吉祥天立像  
 物成 708  
 172・176・177・  
 192  
 紅葉山 728  
 紅葉山群 95  
 木綿ひき歌 609  
 桃の節句 568  
 森永市長時代 817  
 森山宇都宮社 441  
 森山のサザンカ 728

や

やがまえ 549・551  
 やけどのまじな 587

い

矢落川 791  
 矢落川及び都谷  
 川改修事業 1130  
 矢落川源氏登苑  
 生地 741  
 矢落川のげんじ  
 ぼたる発生地 728  
 厄払い 583  
 役米引 177  
 役催合引 176・177  
 八坂神社 440  
 野菜 1153  
 野菜生産の推移 1153  
 柳沢 786

柳沢小学校 382  
 柳沢騒動 519  
 柳沢中学校 388  
 柳沢三島社 441  
 柳沢三島神社 729  
 環  
 柳沢緑の少年隊 1274  
 柳沢村 799  
 梁瀬山陵 102  
 梁瀬の遺跡 88  
 梁瀬焼窯跡 722  
 梁瀬焼竹透入り  
 器 710  
 梁瀬山 741  
 梁瀬山群 95  
 梁瀬山の大神 592  
 矢野郷 103  
 矢野地横山のト  
 ンビ岩 96  
 矢野玄道大人之  
 奥城 723  
 矢野玄道旧宅並  
 びに墓 722  
 矢野玄道旧宅と  
 墓塔 743  
 矢野文書 117  
 山歌 609  
 山口神社 440・459  
 山本大参事頌徳  
 碑 280  
 山本尚徳邸跡 723  
 弥生式土器 88

ゆ

有形文化財 718  
 郵便局 1342  
 郵便事業 1372  
 雪見塚 667  
 柚木のエノキ樹  
 發 734  
 柚木村庄屋所 151

よ

よそいき 536  
 八日ぶき 546  
 用途地域制度 1387  
 陽明学 158  
 陽明全集 331  
 窯芸 651

養鶏 1159  
 養護老人ホーム 870  
 養蚕 611・1159  
 養蚕業 305  
 養蚕取引量 1159  
 養蚕統計 1161  
 養蚕の推移 1162  
 養豚 1157  
 横野のフジ 733  
 与岳大洲住広宜 711  
 予州大洲好人録 181  
 予州大洲御領庄 151  
 屋由来  
 予章記 107・138  
 豫州大洲藩岡本  
 治郎九郎源隆  
 園  
 四手 1325  
 米津城 110  
 米津三島社 441  
 予防接種 900

ら

落葉広葉樹 67  
 落葉樹の混生帯 67  
 酪農 1156  
 蘭学 336

り

楞嚴咒 713  
 俚諺 621  
 立春 567  
 竜吐水ポンプ 946  
 両替屋 1329  
 利用(農協の役  
 割) 1258  
 緑色片岩地帯 30  
 領知朱印状 150・156  
 龍蔵山 480  
 龍蔵山曹溪院 744  
 龍馬脱藩の道 250  
 林業 1268  
 林業研究グルー  
 プ 1275  
 林業構造改善事  
 業 1277  
 林業振興計画 1280  
 林道・作業道の  
 開設 1279  
 林内作業車道 1280

臨濟正宗 169  
 臨濟正宗(黄檗  
 派) 169  
 臨時就労対策事  
 業 1053  
 麟鳳閣 702

れ

歴史の道めぐり 749  
 練革私記 198

ろ

老人相談員 873  
 老人福祉 868  
 老人福祉センタ  
 ー 872  
 老人訪問看護制  
 度 911  
 老人保健施設 911  
 老人保健事業 910  
 老人保健制度 921  
 老人保健福祉計  
 画 870・899  
 老人保健法 899  
 労働運動 1050  
 労働歌 607  
 六度陀羅尼 712  
 老人クラブ 873

わ

わかれ 526  
 わらべうた 600  
 若狭守お講諸事  
 録 493  
 若宮 791  
 若宮慶雲寺線 1390  
 若宮天満線 1390  
 和歌 659  
 脇坂家膳役免許  
 状 716  
 脇差 銘 岡本  
 隆国 711  
 脇差 銘 豫州  
 大洲臣園良花  
 押 712  
 業歌 610  
 渡場 787  
 綿朝子 537  
 悪口歌 605

和盛神社のツブ 736  
 ラジイ 三本